

横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery

プレスリリース：令和4年7月15日

常設展示「横浜本牧と絵画」を大幅に拡充（7月30日(土)以降）

横浜本牧で開館5周年を迎えた横浜本牧絵画館。画家・岩田榮吉（1929－1982）のコレクションを中心とした展覧会を開催しているが、もう一つの柱に、絵画館の立地する横浜本牧と西洋絵画の関わりをテーマとする常設展示がある。常設展示というと、同じ展示物がいつまでも展示されているかのように思われがちだが、実は変わらないのはテーマの方で、展示物や関連する資料などは年々「進化」、そして今回大幅に拡充された。

横浜本牧の地は、日本の洋画の歴史上特異な地と言える。日本人が初めてヨーロッパの画家から直接に技法と理念を学び、「本物」の画材で制作したのは、開港後の横浜。また、風光の地でもあったために、洋画を志す明治の内外人士が多く訪れたのはここ本牧であった。今もそうした歴史を誇りとして制作する画家たちがいる。横浜本牧絵画館では、全国に散逸してしまった作品の再現複製を含め、この地の洋画のあゆみを一覧できる常設展を目指している。



常設展「横浜本牧と絵画」

展示概要

- 【場所】 横浜本牧絵画館
- 【会期】 開館期間中。但し、他の企画展などの開催期間中は簡易版の展示になります。詳細は下記へご確認ください。
- 【休館日】 毎週火曜日
- 【開館時間】 10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 【観覧料】 100円（保護者同伴の中学生以下1名無料）
- 【主催】 公益財団法人横浜本牧絵画館



【貸出画像（上）】岩田榮吉《運河》1954年 油彩・キャンバス
【貸出画像（下）】横浜本牧絵画館エントランス風景

展示内容

第1章：絵画に描かれた本牧の地について

開港後、初期の日本の洋画から、本牧の風景を描いた作家・作品について紹介します。

第2章：本牧の移り変わりについて

関東大震災、空襲、埋立てなどを経て変貌する本牧とその時代の作家・作品を紹介します。

第3章：本牧における須藤家と岩田榮吉、当館について

本牧と当館の成立ち、これまでの活動と今後の方向などを紹介します。

◎本件についてのお問い合わせ先

公益財団法人 横浜本牧絵画館

TEL: 045-629-1150 FAX: 045-629-1151 E-mail: office02@yh-g.org 公式HP: <https://www.yh-g.org>

※「貸出画像」の使用をご希望の際は、上記までお問い合わせください。